

平成28年第5回教育委員会定例会

新 十 津 川 町 教 育 委 員 会 会 議 録

平成28年5月13日 開会

平成28年5月13日 閉会

新 十 津 川 町 教 育 委 員 会

## 平成28年第5回教育委員会定例会

平成28年5月13日（金）  
午後4時00分 開会

### ○ 議事日程

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 行事報告
- 4 報告事項  
報告第18号 平成28年度町内小中学校在籍児童生徒数（5月分）について  
報告第19号 平成28年度新十津川町新規奨学生の選定について  
報告第20号 平成27年度新十津川町社会教育関係施設利用状況について
- 5 その他
- 6 閉会

### ○ 出席者（5名）

久保田 純 史  
熊 澤 定 男  
阪 口 徳 幸  
新 田 右 子  
荒 山 直 人

### ○ 欠席者（0名）

### ○ 職務のため出席した者の氏名

事務局長	遠 藤 久美子
主 幹	内 田 充
学校教育グループ長	坂 下 佳 則

### ○ 開会及び開議の宣告

#### ◎久保田教育長

ただいまから、平成28年第5回教育委員会定例会を開会いたします。農作業等極めてお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。早速、お手元に配布しております議事日程により順を追って進めて参ります。

○ 会議録署名委員の指名

◎久保田教育長

日程第2、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員につきましては、熊澤、阪口両委員を指名いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

○ 諸般の報告

◎久保田教育長

続きまして日程第3、行事報告を議題といたします。事務局より報告願います。

◎遠藤事務局長

それでは、行事報告、お手元の資料をご覧ください。説明につきましては、内田主幹より申し上げます。

◎内田主幹

それでは、お手元に配布の行事報告と書かれた書類をご覧くださいと思います。4月29日から本日5月13日までの行事をまとめておりますのでご説明申し上げます。最初に4月29日、ふるさと公園体育施設のオープンをしております。あいにくの小雨の中、野球場、サッカー場、テニスコート、パークゴルフ場、温水プールがそれぞれオープンをしております。また行事報告には記載されておられませんけれども、5月1日、開拓記念館、彫刻体験交流促進施設かぜのびがオープンをしております。5月2日、教育振興に寄附されました谷口次雄様に対しまして、役場において熊田町長から感謝状が贈呈されまして、谷口様からは、武道場におきまして新十津川中学校剣道部に12組の剣道防具が贈呈をされたところがございます。5月6日、少年野球教室ですが、北海道日本ハムファイターズパートナー協定の事業としまして、新十津川小学校グラウンドで行われております。新十津川ホワイトベアーズの4年生以上27名が参加をしまして、市川コーチ、高口コーチのもと、野球の指導を熱心に受けておりました。次の日、滝川軟式野球連盟の大会におきまして勝利を勝ち取ったというふうに報告を受けております。続きまして、5月9日、新十津川総合スポーツクラブ設立準備委員会が改善センターで行われまして、平成27年度の事業報告並びに平成28年度の事業計画などが審議されております。5月10日、空知教育局の義務教育指導監、中井指導監が、新十津川小学校、新十津川中学校への指導訪問がありました。同じ5月10日ですが、第1回社会教育委員の会が改善センターで行われ、会議に先立ちまして、久保田教育長から委員の方に対しまして委嘱状が交付されまして、平成27年度の事業報告並びに研修計画などの協議を行っております。また、委員長、副委員長の選出も行われ、委員長に西田浩二さん、副委員長に志賀敦子さんがそれぞれ選任をされております。5月12日、ふるさと学園大学入学式がゆめりあで行われ、本年度の入学者は186名でした。久保田教育長が学長代行としまして出席をされております。以上、行事報告とさせていただきます。

◎久保田教育長

行事報告の説明が終わりました。質疑はございませんか。

(「なし」という声あり)

◎久保田教育長

では、ないということですので、行事報告を報告済みといたします。続きまして、日程第4、報告事項を議題といたします。報告第18号平成28年度町内小中学校在籍児童生徒数（5月分）について事務局より説明願います。

◎遠藤事務局長

それでは、議案の3ページをご覧ください。先月と比較しまして、小学校は、1年生、2年生、6年生がそれぞれ1名減でございまして、合計3名減少しまして合計313名、中学校は、先月と同数の186名で、総合計は499名でございます。減少につきましては、小学校1年生は遠軽町へ、小学校2年生と6年生は兄弟でございまして富良野市へ転出しております。以上、報告第18号の説明とさせていただきます。よろしくお願いを申し上げます。

◎久保田教育長

報告18号平成28年度町内小中学校在籍児童生徒数（5月分）についての説明が終わりました。質疑はございませんか。

(「なし」という声あり)

◎久保田教育長

それでは、以上をもちまして、報告第18号平成28年度町内小中学校在籍児童生徒数（5月分）についてを報告済みといたします。続きまして、報告第19号平成28年度新十津川町新規奨学生の選定について事務局より説明願います。

◎遠藤事務局長

それでは、5ページをお開きください。1新規奨学生の人数、1人。なお、本年度の新規貸付は、この方を含めまして10人となりまして、7,550,000円となっております。総額につきましては、21,470,000円となります。本年度新規貸付の予算額として計上しておりましたのは15,200,000円ですので、約半額の予算を執行する形となっております。以上、報告第19号の説明とさせていただきます。よろしくお願いを申し上げます。

◎久保田教育長

報告第19号平成28年度新十津川町新規奨学生の選定についての説明が終わりました。質疑はございませんか。

(「はい」という声あり)

◎久保田教育長

それでは、なしということですので、以上をもちまして、報告第19号平成28年度新十津川町新規奨学生の選定についてを報告済みとします。続きまして、報告第20号平成27年度新十津川町社会教育関係施設利用状況について事務局より説明願います。

## ◎遠藤事務局長

それでは、8ページをお開きください。こちらの表につきましては、平成25年度から3か年の社会教育関係施設、17施設を表に取りまとめております。前年度と比較し、大きく変わっている施設についてご説明申し上げます。最初に、農村環境改善センターでございますが、月で言いますと8月が、前年度と比較し666人の減少となっておりますが、こちらにつきましては、26年度は団体主催の大型事業が開催されておりましたけれども、27年度は大規模な集客イベントがなかったための減少でございます。また、10月、前年と比較し2,174人増加しております。こちらにつきましては、例年、改善センター前の北中央公園で開催されております味覚まつりですが、荒天のため公園で実施せず、改善センターでお祭りを実施したため、大幅な増となっております。続いて青年会館ですが、トータルいたしまして、2,371名の増加ということで大幅に増加しております。こちらにつきましては、放課後児童クラブの利用者が増加したものでございまして、昨年度、児童クラブの対象年齢を、従前は3年生までが対象でございましたが、6年生までに拡大し、また、10月からは平日もこの事業を実施したため大幅な増加となったものでございます。次に図書館でございます。こちらにつきましては、人数ではなく貸出冊数で載せてございます。前年度と比較いたしまして、トータル2,893冊減っております。これは、近隣の図書館の整備による影響がまだ若干続いておまして、町外の方の貸出冊数が約2,800冊減少し、なおかつ町内の貸出冊数も約1,400冊減っておりますが、団体への貸出は1,300冊増えております。なお、貸出人数については、ひと月ごとに人数を出し、12か月を合計したもので見てみますと、町内の貸出人数は前年度と比較し743人増加し12,609人、町外は634人減少し6,463人となっております。町内の貸出人数は増えておりますが、先ほど申しましたように冊数が減っているということで、1人当たりの貸出冊数がちょっと減少しているような状況でございます。続きまして、10ページお開きください。最初にスポーツセンターでございます。年間トータルでみますと2,771名増加しております。この大きな要因は、昨年、スポーツクラブの設立準備委員会を立ち上げまして、その主な教室などを、このスポーツセンターを利用して開催したことで、それによる集客があり大幅な伸びが数字で表れているということでございます。続きまして、14ページをご覧ください。1番上のそっち岳スキー場になります。こちらは、リフトの乗降者数での利用状況でございますので、昨年も1度施設を見ていただきましたが、そり滑りなどリフトに乗らない人数というのはここには含まれておりませんが、前年と比較しまして減少しております。こちらにつきましては、12月が雪不足ということで、オープンは予定どおりでしたが、2日間休業日があったこと、また、1月以降につきましては、雪はそれなりに降っていましたが、土日の集客が見込める週末に、悪天候が重なったことにより、お客様が減ったというふうに分析してございます。このページの1番下です。かぜのびでございますが、前年度と比較して、こちらも減少しております。これは、平成26年度は1人乗りグライダーの展示により入館者がこの8月大幅に増加したことにより伸びておりましたが、27年度についてはそういう集客行事がなく、比較しますと大幅に減少したということになってございます。続きまして、16ページ、武道場でございます。武道場につきましては、年間トータルで比較しますと、1,051人の増加となっております。こちらの主な要因ですけれども、中学校の部活動での利用が増加したものでございまして、中身を見てみますと、27年度は部員が9人ということで、25年、26年は部員数が5人であったということから、人数が増えたことと、毎日のように練習しているということから、その影響で、増えたということと、冬場の、1月、2月、3月

も大幅に増えていますのは、去年は、3年生がおらず、1年生と2年生が部活動の部員だったということで、冬場の間も9人の子どもたちが一生懸命活動した成果ではないかというふうに分析しております。なお、各施設、1番右の欄が使用料ということで、使用料収入の総額が載っております。こちら、スキー場を含めた、図書館だけは使用料ございませんけれども、16施設トータルで比較しますと、26年と比較し27年は569,000円ほどトータルで減少しております。参考までにトータルの人数ですけれども、図書館とスキー場を除く施設の利用人数で言いますと、平成27年は104,915人ということで、26年と比較しますと8,296人ほど利用者数としては増えております。以上、報告第20号社会教育関係施設利用状況についての説明とさせていただきます。よろしくご審議のほどお願いを申し上げます。

◎久保田教育長

報告20号平成27年度新十津川町社会教育関係施設利用状況について説明が終わりました。質疑はございませんか。

◎熊澤委員

改善センターの10月、味覚まつりをやったということですが、これはどうやって人数を把握しているんですか

◎遠藤事務局長

イベントの場合は、数時間間隔で何回か計測した上で、それで、1人どのぐらい滞在するかということ想定して概数をつかんでいます。

◎熊澤委員

この場合、ほかの人たちみたいに1人いくらという金額は発生してこないんですよね。

◎遠藤事務局長

改善センターは、1人いくらではなく部屋1時間いくらなので、何人入ろうと同額となります。

◎熊澤委員

そうですか。総計で人数が増えているのに金額がずいぶん減っているのは。

◎遠藤事務局長

さっき8月に大規模事業がありませんでしたので、やはりホールを使うのが1番使用料としては高いんですけれども、ほかの会議室などはあまり高くありませんので、先ほど言ったように、10月のお祭りで使ったとしても、そんなに大きくここで使用料が見込めるかといったらそうでもない。大ホールの何時間分という使用料はもちろん出てきますけれども、多額の使用料が入ってくるものでもないです。

◎熊澤委員

この味覚まつりの数字が全てなんですね。しかし、おかしく見えてしまう。

◎新田委員

人数と使用料はイコールではないということですね。

◎遠藤事務局長

例えば、選挙などがあれば人としては増えますが、使用料は0円となります。町主催の事業でいっぱい集客があれば、使用料は入りません。改善センターや単価の高いところのお客さんが増えれば使用料としては上がりますけれども、必ずイコールということにもならない。スキー場も子どもは無料ですから、大人がいっぱいくれば使用料収入は上がりますけれども、リフトに乗ったのが子どもばかりだったら基本的には、リフト代は入ってこないこととなります。

◎久保田教育長

ほかにございませんか。

(「なし」という声あり)

◎久保田教育長

それでは、以上をもちまして、報告第20号平成27年度新十津川町社会教育関係施設利用状況についてを報告済みといたします。続きまして、日程第5、その他を議題といたします。事務局より説明願います。

◎遠藤事務局長

それでは、まず定例会の日程について確認させていただきます。来月、6月の定例会につきましても、17日の金曜日というふうに考えております。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

◎遠藤事務局長

その次、7月の定例会ですが、去年は16日ぐらいに実施しておりました。事務局案としましては、7月11日の月曜日というふうに思っているのですが、まず皆様方のご予定をお伺いしたいと思っております。

◎新田委員

私は大丈夫です。

◎遠藤事務局長

鑑賞事業を鑑賞していただいたあとに定例会はいかがでしょうか。

(「はい」という声あり)

◎遠藤事務局長

では、そのように予定させていただきます。

◎久保田教育長

委員さんからはないですか。

(「はい」という声あり)

◎久保田教育長

以上をもちまして、平成28年第5回教育委員会定例会を閉会いたします。

(閉会 午後4時45分)

会議の顛末を記載し、その旨相違なきことを証するためにここに署名する。

会議録署名委員 熊 澤 定 男

会議録署名委員 阪 口 徳 幸